

## 省エネ冷凍冷蔵庫「マジック大容量 新 VEGETA シリーズ」

東芝ライフスタイル株式会社

神奈川県川崎市川崎区駅前本町 25-1  
東芝生活家電相談センター  
フリーダイヤル：0120-1048-76  
受付時間：365日 9:00~20:00

■GR-M600FWX 他全 10 機種

### 東芝独自のツイン冷却と、鮮度技術で食品ロスを削減、 ツイン冷却+省エネ技術の進化で、今年も大幅な省エネを実現



新鮮☆5つ星

VEGETA

**297kWh/年** → **269kWh/年** **9.4%ダウン**

(2016年度 GR-K600FWX)

(2017年度 GR-M600FWX)

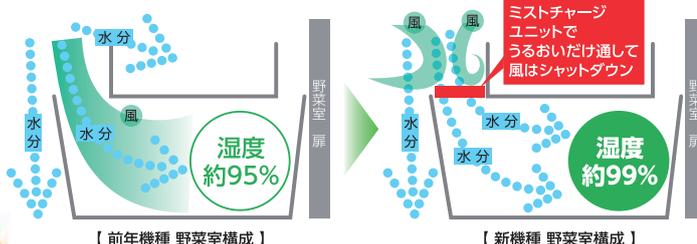
\*15年測定方法 (JIS C 9801-3:2015)

#### 新鮮ツイン冷却と鮮度の新技术で、家庭の食品ロスをカット

**新開発** ミストチャージユニット (透湿ユニット) **もっと 潤い 摘みたて野菜室**

新鮮ツイン冷却システムの働きで、うるおい冷気が1日20回以上<sup>\*1</sup>も循環。さらにミストチャージユニット (透湿ユニット) が冷気中の水分だけを抽出して野菜室内に入れ、野菜に適した低温・高湿度環境にします。野菜の鮮度が長持ちして最後までおいしく使い切れるから、もったいない食品ロスを削減できます。<sup>\*2</sup>

\*1 運転環境や条件により、回数は増減することがあります。当社調べ。 \*2 運転状況や食品の種類、状態や量により、効果は異なります。当社調べ。



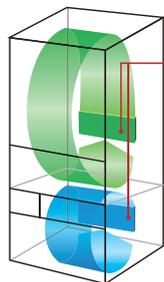
1週間保存後の野菜の水分減少率を3%以下<sup>\*3</sup>に低減しみずみずさと鮮度を保持!

最後まで使い切れるから1人あたり年間約15kg<sup>\*4</sup>もある食材廃棄量の削減にも大きく貢献!

\*3 新商品GR-M600FWX「もっと潤い 摘みたて野菜室」に保存し7日後の測定値。キャベツの水分減少率GR-M600FWX:98.4%。当社試験結果による。保存前の状態や種類、運転状況によって異なります。  
\*4 農林水産相「平成26年度食品ロス統計調査 (世帯調査)」から算出

### 新鮮ツイン冷却と4つの最新技術の組み合わせで、さらに進んだ省エネ

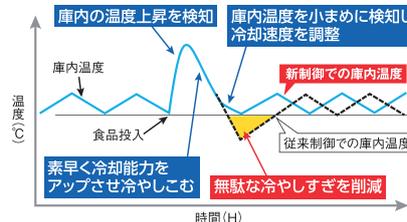
#### 冷却効率を高める新鮮ツイン冷却



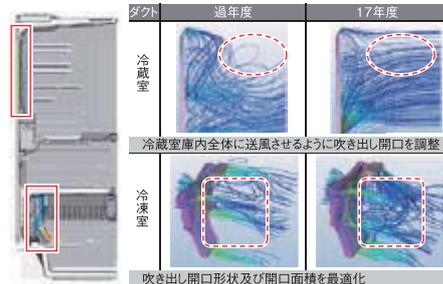
2つの冷却器が2種類の冷気を生成  
2種類の冷気で、冷蔵ゾーンと冷凍ゾーン、2つの温度帯を効率よく冷却。冷却器に霜がつきにくいので、霜取り時のヒーターの消費電力も抑えます。

#### ムダを減らすアクティブ冷却制御

温度センサーで庫内温度を検知、食品温度を予測して冷却速度を調整することで、ムダな冷やし過ぎを削減。



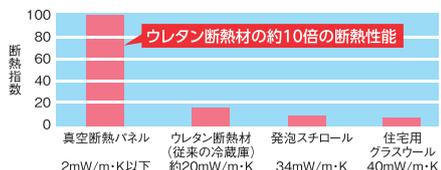
#### 送風効率向上で庫内の温度ムラ改善



#### 真空断熱パネルの断熱性能アップ

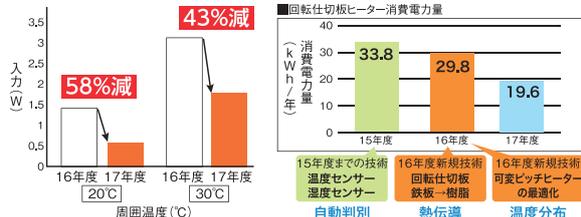
真空断熱パネルの素材と構造を見直し、断熱性能を約13%<sup>\*5</sup>改善。低真空で魔法瓶並みの断熱性能を実現しました。

\*5 2016年度GR-K600FWXと新商品GR-M600FWXとの比較。



#### 回転仕切板ヒーターの運転を効率化

冷蔵庫周囲の温度・湿度をセンサーで検出し、ヒーターの運転をよりムダがないように自動で調節。消費電力量を低減します。



#### 清潔に保つお掃除口

野菜室の底に落ちた野菜くずや土を、穴から落として簡単に捨てられます。

